



令和2年度
【県北版】学校教育指導の重点



福島県教育庁 県北教育事務所

【県北教育事務所オンライン講座】
「主体的・対話的で深い学び」の
実現を目指す授業の充実
～子どもに「見方・考え方」
を働かせる授業の展開例～



1:35 / 3:40



県北教育事務所では、オンライン講座「『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指す授業の充実」を発信しています。

☆県北教育事務所「三部作」☆
「【県北版】リーフレット」
「【県北版】学校教育指導の重点」
「【参考資料】主体的・対話的で深い学びの実現へ向けて」



「【県北版】学校教育指導の重点」



◎ 子どもに「見方・考え方」を働かせる授業の展開例
◎ スライド数枚、5分程度で紹介！

1:35 / 3:40



「【県北版】学校教育指導の重点」から子どもに「見方・考え方」を働かせる授業の展開例を紹介しています。

道徳科
No.2へ

特別活動
No.3へ

特別支援教育
No.4へ

- ・ここでは、道徳科・特別活動・特別支援教育の3つのスライドを掲載しています。
- ・明日からの授業づくりにご活用ください。詳しくは、県北教育事務所ホームページをご覧ください。



小学校 道徳科第6学年「ブランコ乗りとピエロ」



令和2年度

【県北版】学校教育指導の重点



福島県教育庁 県北教育事務所

【県北教育事務所オンライン講座】

「主体的・対話的で深い学び」の
実現を目指す授業の充実
～子どもの「見方・考え方」を
働かせた授業の展開例～

【道徳科編】



主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実
～「道徳科における見方・考え方」を働かせて～

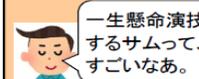
「道徳科における見方・考え方」を働かせるとは、道徳的諸価値についての理解を
基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から：中学校）多面的・多角的に考え、自
己の（人間としての：中学校）生き方についての考えを深めること

【小学校第6学年「ブランコ乗りとピエロ」 B-11 相互理解、寛容】

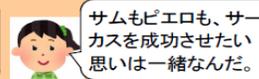
「ペアやグループ・学級全体での話し合い」

自己との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりさせましょう。

サーカスが終わった後、ピエロはサムのことをどのように思ったでしょう。



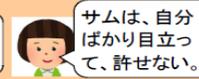
一生懸命演技
するサムって、
すごいなあ。



サムもピエロも、サー
カスを成功させたい
思いは一緒なんだ。



自分も目立ち
たかったなあ。



サムは、自分
ばかり目立っ
て、許せない。

そのときの様子を演技してみましょう。



サム役

ぼくは、サーカスのために必死に頑張
ったんだ。その何がいけないの？

ぼくのやったことは、サーカスのため
になっていないということ？

それが、一番サーカスのためになる
ことなら、僕の考えが少し間違っ
ていたのかもしれないね。

自分ばかり目立ってずるいよ。自分勝手
はやめてほしい。

それは分かるけど、自分勝手にやって
いたらサーカスはバラバラになるよ。

君の演技は素晴らしいよ。でも、みんなのい
い演技をお客さんに見せたいと思うんだ。

ピエロ役



今の演技を見て、考えたことを発表してください。

「ずるい」とか、
「くやしい」と思う
気持ちは、確か
にあるよね。

ピエロはリーダーだ
から、サーカスをワ
ンチームにしたかつ
たんだ。

「君の演技は素晴らしい」と認
められて、サムもうれしかった
と思うわ。だから、サムもピエ
ロの意見を聞く気持ちになっ
たのではないかしら。

「まとめ・振り返り 新たな学び」

ねらいに照らして、「自分」について考えることができるようにしましょう。

※ 共通体験の想起、教師による子どものエピソードの紹介、生活ノートの活用
等により、ねらいに関する自分を見つめさせることが有効です。



ピエロのように、相手
と理解し合えて、より
よいものが生まれた経
験はありますか。



水泳記録会のリレーで、チームの友達に「もっと速く泳
いでほしい」と思っていました。でも、その子も一生懸命
頑張っているんだって気付いて、その友達の方もぼくが
頑張ろうって思って、4人で話し合いました。1位じゃなかつ
たけど、4人で頑張れてうれしかったです。



「自己を見つめる（自分との関わりで捉える）」視点、
「多面的・多角的に考える」視点、これらの二つの視点を
生かした発問や問い返しを行うことが、学びを深める鍵と
なります。



小学校 特別活動第4学年「3年生ともっと仲良くなろう会」を開こう



令和2年度

【県北版】学校教育指導の重点

福島県教育庁 県北教育事務所

【県北教育事務所オンライン講座】

「主体的・対話的で深い学び」の
実現を目指す授業の充実
～子どもに「見方・考え方」を
働かせる授業の展開例～

【特別活動編】



児童が自分たちの学級や学校をよりよくするために、問題を発見し、その解決をめざして話し合う時間にしましょう。合意形成したことを協働して取り組めるように、学級活動(1)の授業充実を図りましょう。

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実
～「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせて～

「集団や社会の形成者としての見方・考え方」とは、各教科等における見方・考え方を総合的に働かせて、集団や社会に対する問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己実現に関連付けること

計画委員会
話し合うべき問題
かどうか考え議題
を選定します。

【小学校第4学年】 【議題】「3年生ともっと仲良くなろう会」を開こう。 迷ったら提案理由に戻りましょう。

「ペアやグループ・学級全体での話し合い」 異なる意見を互いに理解し合った上で合意点を見つけましょう。

「鬼ごっこ」がいいです。わけは走って楽しくなるからです。

「陣取り」がいいです。3年生も知っていて楽しくできそうだからです。

「鬼ごっこ」が多いですが、みんな楽しめそうですか。

提案理由に「みんな楽しく」とあるので、「鬼ごっこ」は走ることが苦手な人は楽しめないと思います。

「鬼ごっこ」は休み時間に行えるし...

それでは、「陣取り」に決定でもいいですか。

多数決ではなく少数意見も大切にしてください。」と云ってたなあ。

司会者

「まとめ・振り返り 新たな学び」 自分たちで決めたよさが実感できるようにしましょう。

自分や友達のよかったところやがんばったところを学級会ノートに書きましょう。

提案理由の「みんな仲よく」を考え、話がまとまったのでよかった。

司会を中心に自分たちで話し合うことができた。

3年生と仲よく楽しく行ってみたいです。

※意図的に指名しましょう。

学級としてまとまったのは素晴らしいです。司会もよく頑張りましたね。みんな楽しくできるといいですね。

集会活動の実践後、振り返りの場を設定し、自分自身のがんばりや友達のよかったところ、協力や創意工夫の大切さを発見できるようにします。



特別支援教育「授業のユニバーサルデザイン」 🔍

令和2年度

【県北版】学校教育指導の重点



福島県教育庁 県北教育事務所

【県北教育事務所オンライン講座】

「特別支援教育の視点から
取組む授業づくり」

～授業のユニバーサルデザイン～

【特別支援教育編】



1:35 / 3:40



すべての子どもにとって分かりやすい授業を行うために、ユニバーサルデザインの視点で学級全体を支援しましょう。見通しをもたせ、安心して学びができる環境づくりを行いましょう。

学びの困難さに応じた指導の工夫！



学びにくさに応じた工夫にはどんなものがあるのでしょうか？詳しく知りたいのですが、何か参考になるものはありますか？

小・中学校学習指導要領解説各教科編には、「10の視点」で困難さを見取り、それに応じた指導内容や指導方法の工夫が示されました。



◇ 困難さ【10の視点】

- ① 見えにくさ ② 聞こえにくさ ③ 道具の操作の困難さ
- ④ 移動上の制約 ⑤ 健康面や安全面での制約 ⑥ 発音のしにくさ
- ⑦ 心理的な不安定 ⑧ 人間関係形成の困難さ
- ⑨ 読み書きや計算等の困難さ ⑩ 注意の集中を持続することが苦手

特別支援教育センターHP掲載の「コーディネートハンドブック」には、学習指導要領各教科解説編に対応した具体的な実践事例が、教科ごとに掲載されています。



教科書がうまく読めないよ・・・



Dさんは、一行とばして読んでしまうことが多いわ。どんな「困難さ」があるのだろう？

【10の視点】からすると、①・⑨・⑩かな？

Ⅱ-1一人一人の特性等に応じた必要な指導や支援のために ☆情報補助資料

☆障がいのある児童生徒などへの配慮
～国語編～

小学校学習指導要領解説国語編・中学校学習指導要領解説国語編に掲載されている内容をまとめました。

【小学校 国語の配慮例】

1 文章を目で追いながら音読することが困難な場合

【10の視点^{※1}】から予想される困難さ
①見えにくさ ⑥読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

そのための指導の工夫の意図、手立て^{※2}

自分がどこを読むのかが分かるように教科書の文を指等で押さえながら読むよう促すこと、行間を空けるために拡大コピーをしたものを用意すること、語のまとまりや区切りが分かるように分かち書きされたものを用意すること、読む部分だけが見える自動具（スリット等）を活用することなどの配慮をする。

※P23 QRコードⅡ



Dさんは行を追って読むことが難しいのかな。工夫の意図・手立てに書いてあるように、教科書を拡大コピーして、読む行に定規を当てて読むようにさせてみよう！

文字が大きくて、見やすいな！定規を当てているからどこを読めばいいか分かりやすくなった！



障がいのある子どもを指導する場合でも、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。



QRコードⅠ



QRコードⅡ